



私の「推し」を紹介します！

大阪狭山市立東小学校

教科	国語	単元名	風切るつばさ
----	----	-----	--------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP 3, D-STEP 3
F-STEP 3, G-STEP 3

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

単元でつきたい力

- (教科等でつきたい力)
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。
 - ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。
 - ・進んで登場人物の相互関係や心情を捉えたり、人物像や物語の全体像を具体的に想像すること考えたことを伝えたり、分かり合おうとしたりする。
- (学校図書館等の活用でつきたい力)
- 物語文とその登場人物の面白さや魅力を捉え、伝えようとする力。

単元における学習の展開（全 10 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	・学習計画を知る。 ・ルーブリックをつくる。
第 2 次 (7 時間)	・物語の展開と人物同士の関係を捉える。(☆) ・人物の心情の変化を想像し、その理由を考える。 ・「風切るつばさ」で一番魅力的だと思う登場人物（「推し※1」）を決め、魅力的だと思うところ（魅力ポイント）を整理する。 ・誰に「推し」のことを伝えたいか相手を決める。 ・既習の物語文（お手紙、サーカスのライオン、ごんぎつね、大造じいさんとガン、風切るつばさ）から一つ選び、人物同士の関係から最も魅力を感じた登場人物（「最推し」）を決める。(☆) ・なぜその人物を選んだのか伝えたい魅力を人物同士の関係に注目して整理する。 ・魅力を伝えるために必要な情報を集め、整理し分析する活動に取り組む。 ・オフ会※2を開催する（本時） ・同じ「推し」をもつ人同士で集まり、今の方法で魅力が伝わるかどうか互いにアドバイスをし合う。 ・魅力を伝えるために使う資料を推敲する。
第 3 次 (2 時間)	・学習のゴール （私の「推し」を紹介します！～学習した物語で最も魅力的な登場人物を東小のみんなに紹介しよう！～） ・伝えたい推しの魅力が相手に伝わったか自己評価する。(☆) ・学習をふりかえる。

※1：物語の中で最も自分が魅力を感じた登場人物 ※2：同じ「推し」同士で集まり、魅力を伝え合う会

本時のねらい

- ・同じ「推し」の登場人物を選んだ者同士で集まり、伝えたい魅力が相手に伝わるかどうか意見を伝え合い、整理したものを推敲する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 前回の学びのふりかえりと今日のめあての確認 ・どんなオフ会になればいいのかを児童と確認する。	・学習のゴール（誰に何を伝えるのか）と活動の意味を意識する。
展開 (35 分)	2. 情報の収集 ① オフ会の準備 ・自分が伝えたい「推しの魅力」とは何かを整理する。 ② オフ会をしよう ・自分の選んだ「推し」の魅力を伝える。 ・「伝えたい魅力ポイント」にそって相手に伝わったかどうか確認する。 ・魅力がより相手に伝わるためには、どうすればいいかをアドバイスし合う。 3. 整理・分析 ・魅力ポイントを見直し、推しの魅力がより伝わる方法を考える。 （推敲）	・自分の思いが伝わったかどうかを自己評価できるように「伝えたい魅力」ポイントを作成する。 ★人物同士の関係から魅力を考えられているかがポイント ・どのようなポイントでオフ会をするのか授業の初めに決めたことを確認する。 ・相手の考えを引き出す問い（オープンクエスチョン・クローズドクエスチョン）はどのような問いかシェアする。
まとめ (5 分)	4. ふりかえり （次回へ向けてシェアタイム含む）	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「さて、私の魅力ポイントは何でしょう？」とクイズ形式にすると相手に魅力ポイントがきちんと伝わったかどうか分かりやすかった。
- ・どんな魅力シート（魅力ポイントまとめたもの）ができるとよいかルーブリックを作ったものをいつでも確認できるようにするとよい。
- ・学校図書館（学校司書）との連携で、事前に関係図を紹介する動画に出演してもらい、いつでも視聴できる状態にしたり、魅力シートを学校図書館前に掲示し、様々な学年の子たちに見てもらったりすることで、授業の幅が大きく広がったと感じる。単元後も継続的に学びを深めていきたい。



同じ「推し」をもつ人同士で集まり、オフ会をする場面